

平成25年教育委員会第11回定例会会議録

開会日時 平成25年11月12日 午前 10時10分

閉会日時 同 上 午前 11時05分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 松 本 實
同職務代理 杉 浦 容 子
委 員 塚 本 亨
委 員 面 田 博 子
委 員 竹 高 京 子
教育長 塩 澤 雄 一

議場出席委員

・教育次長	濱中 輝	・庶務課長	田口 浩信
・教育計画推進担当課長	若林 繁	・施設課長	伊藤日出夫
・学務課長	石合 一成	・指導室長	岡部 良美
・統括指導主事	志村 昌孝	・統括指導主事	光山 真人
・地域教育課長	小曾根 豊	・生涯学習課長	今井 英敬
・生涯スポーツ課長	竹嶋 和也	・中央図書館長	橋本 幸夫

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 松 本 實 午前 10時10分 開会を宣する。

署名委員 委員 松 本 實 委員 杉 浦 容 子 委員 塩 澤 雄 一
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 おはようございます。

ただいまから、平成25年教育委員会第11回定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名は、私に加え、杉浦委員と塩澤教育長にお願いいたします。

庶務課長。

○庶務課長 事務局職員の欠席についてご報告させていただきます。

本日、10時過ぎに稲田行政改革担当大臣が本田小学校のICT授業の視察に見えられて、その対応で平沢学校教育担当部長が本日の教育委員会を欠席させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長 了解です。それでは議事に入ります。

議案第37号「葛飾区教育委員会委員長の選出について」を上程いたします。議案説明をお願いいたします。

庶務課長。

○庶務課長 それでは、議案第37号「葛飾区教育委員会委員長の選出について」、ご説明いたします。

提案理由でございます。

現、松本委員長の委員長としての任期が11月23日をもちまして満了になることに伴いまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項に基づきまして、新委員長の選出をするため、葛飾区教育委員会会議規則第6条第1項の規定により、選挙を行うものでございます。

よろしくお願いいたします。

○委員長 それでは、ただいまから新委員長選出の選挙を行います。

なお、選挙は、葛飾区教育委員会会議規則第6条第1項の規定により、単記無記名投票とし、有効投票の最多数を得たものをもって当選者といたします。

投票用紙の配付をお願いいたします。

(投票用紙配付)

○委員長 投票箱の確認をお願いします。

(投票箱確認)

○委員長 投票をお願いいたします。

(投票)

○委員長 開票をお願いいたします。

(開票)

○委員長 投票の結果の報告をいたします。

投票総数6票、有効投票数6票、うち杉浦委員6票でした。

この結果、葛飾区教育委員会会議規則第6条第1項の規定により、杉浦委員が委員長に選出されました。

なお、任期は、平成25年11月24日から平成26年11月23日までとなります。

これをもちまして、委員長選出の選挙を終了いたします。

庶務課長。

○**庶務課長** ただいまの選挙で現委員長職務代理者の杉浦委員が委員長に選出されたことによりまして、委員長職務代理者を新たに選出する必要が生じたので、議案38号として、「葛飾区教育委員会委員長職務代理者の指定について」を提出したいと思っております。

○**委員長** 庶務課長から議案の提出がございましたので、議案第38号として、「葛飾区教育委員会委員長職務代理者の指定について」を本日の議事日程に追加し、本件を上程いたします。

事務局、議案の配付をお願いいたします。

(議案配付)

○**委員長** 議案の説明をお願いいたします。

庶務課長。

○**庶務課長** それでは議案第38号「葛飾区教育委員会委員長職務代理者の指定について」ご説明申し上げます。

提案理由でございます。11月24日に現委員長職務代理者の杉浦委員が新委員長に就任することによりまして、委員長職務代理者が不在になりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項に基づきまして、新たな委員長職務代理者の指定をするため、葛飾区教育委員会会議規則第7条の規定によりまして、選挙を行わせていただくものでございます。

よろしくをお願いいたします。

○**教育長** それでは、ただいまから新委員長職務代理者を指定する選挙を行います。

なお、この選挙は、葛飾区教育委員会会議規則第7条の規定により、単記無記名投票とし、有効投票の最多数を得たものをもって当選者といたします。

事務局、投票用紙を配付してください。

(投票用紙配付)

○**委員長** 投票箱の確認をしてください。

(投票箱確認)

○**委員長** 投票をお願いいたします。

(投票)

○**委員長** 開票をお願いいたします。

(開票)

○委員長 投票の結果を報告いたします。

投票総数6票、有効投票6票、うち塚本委員6票でした。

この結果、葛飾区教育委員会会議規則第7条の規定により、塚本委員が委員長職務代理者に指定されました。

なお、指定期間は、平成25年11月24日からとなります。

これをもって、委員長職務代理者を指定する選挙を終了いたします。

これで、議案の審議を終了いたします。

次に、報告事項等に入ります。

報告事項等1「平成25年度小学校連合陸上競技大会の実施結果について」ご報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは、私から平成25年度小学校連合陸上競技大会の実施結果につきましてご報告させていただきます。

本年度、10月29日と30日の2日間にわたりまして、小学校連合陸上競技大会が総合スポーツセンター陸上競技場で実施されました。今年度より、全校の6年生児童全員が参加ということで実施をいたしまして、その2日間にわたりまして、午前、午後の1回ずつの計4回を実施したところでございます。約3,400人の6年生児童が参加をいたしました。

この実施に当たりまして、各校では当日に向けまして、陸上運動における学習のまとめを各学校の体育の授業等で行うとともに、朝や放課後等に大会に向けた練習を実施することなどを通して、目的の一つであります体力の向上を図るきっかけとなっております。

実施種目につきましては、資料のとおりでございますので、ごらんいただきたいと思います。

まず、実施種目は、男女別に100メートル走、50メートルハードル走、1,000メートル走、走り幅跳び、4×100メートルのリレーを実施したところでございます。

今回は雨天によりまして、一部、一つのグループが中止になりまして、全校の児童が大会での記録を残すことができませんでしたが、競技に参加をした児童については、好成績も出ております。

こちらにつきましては、昨年度までは、それぞれの学校での有志による参加でございましたけれども、昨年度の記録と比べさせていただきますと思っております。

ここに全て、資料のところで、合わせて10種目の記録を書かせていただいておりますが、この中で、女子の100メートル走、男子50メートルハードル走、女子50メートルハードル走、男子1,000メートル、女子1,000メートル、男子走り幅跳び、女子走り幅跳び、そして男子のリレーの10種目中8種目で、昨年度より記録が向上しております。

今回、先ほども申し上げましたが、29日の午後につきましては、実施の途中で雨が降り出して、途中で中止となる結果になりました。保護者の方からもご自分のお子さんが種目に出る前の中止ということで、大変残念だというご意見もいただいております。

来年度につきましては、雨天による中止の際の振り替え等について、その対策は検討してまいりたいと思っております。

最後になりますが、参加した6年生の子ども一人ひとは競技場を活用して記録をとることによりまして、自己ベストを目標にして、競技に一生懸命臨んでおりました。また、小学校6年間の陸上運動の一つの学習の締めくくりといたしまして行うことができたと考えております。

この取組を機会といたしまして、さらに中学校でまた連合陸上競技会もございますので、中学校における体力の向上につなげていくとともに、陸上運動をはじめ、スポーツに親しむ生涯体育の素地をまた図っていくきっかけとしたいと思っております。

私からのご報告は以上でございます。

○委員長 ただいまの説明についてご意見やご質問等がございましたら、お願いします。

塚本委員。

○塚本委員 私は初めて参加させていただいたのですが、ご報告のように6年生全児童が参加をし、一堂に会したということ、それと、自己の研さんに目標をもつことは非常に大事なことでございます。ただ、雨天の部分だけ、私はちょっと早退してしまって、天候を見ながら危んでいたのですが、次年度以降また保護者の方にも雨天時の対策等を考慮していただければと思います。

よろしくをお願いします。

○委員長 ほかにございますか。

杉浦委員

○杉浦委員 今、塚本委員のほうからもお話がございましたが、途中から雨天に遭遇した競技会は、私も初めての経験でした。力を振り絞って最後まで走る児童の姿、一生懸命に応援する子どもたちの姿に感動している時、雨は激しく降り続き、止む様子はないような状況になりました。瞬時に、校長先生、教職員の先生方、教育委員会、指導主事の先生方が児童に対する安全、無事故を最優先に中止の英断をされました。テントの中に素早く誘導したり、風邪をひかないように体育館に誘導したり、暖をとるためにバスの手配に会社に連絡交渉したりと迅速な行動でした。私はその機敏な行動に感動しました。子どもたちも無事に無事故で、その後、風邪や体調不良というお話もお聞きしませんでしたので、立派な競技大会が出来たと思います。ただ、先ほど、委員の方からも指導室長からもお話がございましたが、児童一人ひとりの記録会でもありますので、雨天時の代替等の課題は検討していただきたいと思っております。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今、お二人の委員からお話しをいただきました。今回、実施に当たりましては小学校の校長会、そして小学校の体育部が非常にいろいろ計画を立てながら実施をしたところでございます。まだ第1回ということで、今お話しいただいたことも含めて、まず、教育委員の皆様が今回の大会の成功について、学校関係者の協力がすばらしかったということをお伝えするとともに、課題につきましても、来年度に向け、しっかりと課題を解決できるようにしてまいりたいと思っています。なお、今回、共栄大学の学生の方にも競技の補助員という形で参加をいただきました。そういう方のご協力もあって、今回の大会が実施できたということもご報告させていただきます。

○委員長 竹高委員

○竹高委員 初めての大会でしたので、私、4回とも見させていただきました。計画を立てて、実行なさった校長先生をはじめ、体育部の方、指導室の方、本当にすばらしいお力だなと思って感謝しております。子どもたちの姿は、中学生の陸上競技会とはちょっと違って、笑顔も見られる、必死で走っている姿も見られる、和やかな中にも真剣なものもあり、とても温かい競技大会だったのではないかなと思います。

先ほど杉浦委員もおっしゃいましたが、子どもたちが応援する姿勢というの、まだ中学生のところまではいっていないのですけれども、きちんと統率がとれている学校もあり、応援することもスポーツの一環であるということをご経験して、中学生になってもらえればなと思って見せていただきました。雨のときも残念ではあったのですが、雨の中で風邪を引いた子がいないといいのですけれども、そのときに陸上の中で体を温めながら走っていた、楽しそうな笑顔がやけに印象的で、ちょっと楽しい思いをした子どももいるのかなと思うと、それでも、それを企画して、最初から中止にしないでよかったのではないかなというふうには、経験として、いい経験ができたのではないかなというふうに感じました。

一点お願いしたいのは、中学生ですと、陸上部もあり、日よけになるものを各校お持ちになられていたり、張ることもできるのですけれども、小学校、4回やるという形であれば、できれば待つ場所のところに日よけ、普通のブルーシートだけでも結構ですので、それがあれば、全天候型の陸上大会ができる競技場ですので、小雨とかのときにも若干よけることもできますし、もしできれば日よけ、雨よけみたいな形で用意できたらいいのかなというふうには思いました。もしできれば、よろしく願いいたします。

○委員長 ほかにございますか。

私からですけれども、先ほどから出ているものに、1点目は雨天の予備日を検討していただきたいというのが一つ。次に2点目は競技役員ですけれども、校長たちに聞きましたら、学校に残っている1年生から5年生の先生たちも精いっぱいやっていて、現場にも来ているので

余裕がないということも聞きました。私は陸上競技協会に関係しておりますので、陸上競技協会にも専門性を持ったお手伝いできる人材がありますので、そのあたりも協力したらいいのかなと思いました。

3点目は、帰りのバスのところにいたのですけれども、あそこの駐車場が狭くてバスの待機する場所の関係で、待ち時間の大変長い学校があつて、天候がもし悪かったりすると、そこで体調が狂ったり、学校の帰る時間も遅くなるので、もうちょっとプールのところとか野球場とか、いろいろなこととか、バス会社との折衝とかで工夫ができるのかなと思いました。

もう1点は、専門的な陸上を教えていたので心配に思ったのは、直前まで座っていて、立つてすぐに競技に参加するというのでは、いい記録も出ませんので、もう少し体を動かして、やる気十分な状態を出させてあげると、もっといい記録が出るのかなと思いました。

反省会や、これからの企画のところで検討していただければありがたいと思います。

ほかによろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 それでは報告事項等2にいきます。「平成25年度葛飾区読書感想文コンクールの結果について」ご報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは平成25年度葛飾区読書感想文コンクールの結果につきまして、ご報告をさせていただきます。こちらにつきましては平成17年度より実施をしておるものでございまして、今年度は、資料2の「応募状況」のところにありますように、小学校では16,319点、中学校では4,982点の応募がございました。

応募校数につきましては、小学校で49校、中学校で23校と応募がございました。その中から各学校で担当教諭による第一次審査を行いまして、そこで小学校291点、中学校63点が学校代表作品として推薦をされ、さらに葛飾区の小学校教育研究会、葛飾区中学校教育研究会の図書部会の教員による選定委員会で第二次審査を行いまして、小学校18点、中学校11点を入賞いたしました。それと、入賞したお名前、作品がそちらの部門別入賞作品として資料に載せさせていただきます。

あわせてすぐれた作品につきましては、「青少年読書感想文全国コンクール」東京都地方審査へ推薦をしたところでございます。

それぞれの部門の入賞者のほうは、一覧表のとおりでございますが、最優秀賞につきましては、小学校低学年の部では、水元小学校の大角奏歩さんが最優秀賞となっております。小学校中学年の部につきましては、最優秀賞は葛飾小学校の3年生、岩田翔人さん、小学校高学年の部では、最優秀賞は東水元小学校の6年生の竹生紘希さん、そして中学生の部につきましては、最優秀賞は四ツ木中学校の日比野忍さんということになっております。

なお、小学校低学年、中学年、高学年、中学生の部につきまして、昨年度との応募総数を比較させていただきます。まず、小学校低学年の部でございますが、今年度応募総数4,410点でございますが、昨年度は3,690点ということで、小学校低学年の部は応募総数がかなり増えております。

中学年の部につきましても、昨年度5,650点のところ、今年度5,679点でございますので、若干増えたというところでございます。

小学校高学年の部は昨年度が6,045点でございますので、200点ほど増えております。

中学生の部につきましても、昨年度は4,677点でございますので、今年度250点ほど増えたという結果になっております。

子どもたちの読書への意欲が昨年度よりまた増してきたというふうに思っております。今後各学校のほうに、読書活動の重要性ということは来年度の教育を計画する上においても、しっかりと重点化をするように話をしてまいりたいと考えております。

なお、今お話ししておりました部門ごとの最優秀賞、優秀賞、佳作につきましては、「広報かつしか」の11月25日号に掲載をしてみたいと考えておるところでございます。本日午後4時30分から、この読書感想文コンクールの表彰式を行う予定となっております。

この後、毎年行わせていただいておりますが、統括指導主事より小学校低学年の部の最優秀賞の読書感想文を披露させていただきますので、お時間をいただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○志村統括指導主事 では、私のほうから、小学校低学年の部の最優秀賞の水元小学校の児童の作品を紹介させていただきます。その感想文の前に、読んだ本なのですが、『七日間のスノウ』という物語でして、これは主人公の真美さんが、公園で生まれたばかりの子猫を拾ってきて、その猫を「スノウ」と名付けて、隠れ家でこっそり育てるという物語。62ページにわたって、絵等を含めての物語という本です。その本を読んだ感想文になります。では、感想文のほうを紹介させていただきます。

「たいせつにおもうきもち」

私は今、犬を飼いたいです。お父さんとお母さんに言うと、「また今度ね」と言います。

真美ちゃんは、お姉ちゃんがぜんそくなので、家で猫を飼えないから、秘密基地で飼えてうらやましいなと思いました。でも、とても大変そうでした。

赤ちゃん猫は3時間おきにミルクをあげないといけないから、真っ暗な夜に何度も起きて、ミルクを飲ませに行ったり、1人ではおしっこもうんちもできないから、お尻をこすって出してあげました。

私は怖いテレビは好きだけど、夜暗い中、違う部屋に行く勇気がありません。だから、スノウのところへ夜中に1人で行く真美ちゃんはすごいと思います。

おしっことうんちのお世話は私にもできます。今習っているポニー教室では、馬のうんちは手で拾います。濃い緑色のうんちで、草みたいだけど、手の上でちょっとべたべたして、とても臭いです。最初は嫌だったけど、えさを一生懸命かんで、緑色のうんちが出ると、馬が元気だってわかるからうれしくなります。

一生懸命お母さん猫のかわりをしてあげたかったけど、真美ちゃんがお熱を出してしまって秘密基地に行けなかったから、7日目にスノウは天国に行ってしまいました。悲しくていっぱいになってしまったけど、夢の中でスノウがありがとうって言うてくれたから、とても喜んで行ったって、真美ちゃんはわかったと思います。

真美ちゃんみたいに一生懸命お世話をして、命を大切にしたら、お父さんとお母さんは言うてくれるかな。「犬を飼ってもいいよ」って。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

質問等ございますか。

面田委員。

○面田委員 今、感想文を聞きまして、本当に、かわいいねっていう感情が自然に上がってきます。人間というのはこういううれしい感情、きれいだなという感情、かわいいなという感情、あるいはつらい感情、悲しい感情、いろんなものを体験することによって、人格が形成されていくと思いますので、各学校でもこういうふうに、この優秀な作品を読んであげている機会が増えてくれるとうれしいなという感想がまず一つです。

それから、全く別のことですけれども、これだけたくさんの応募があつて、昨年よりも増えているということは大変ありがたいし、ご努力に感謝申し上げたいと思います。

ただ「読書感想文を書け」と言っても、子どもは書くわけではないので、そこに至るまでの、例えば幼児期から小学校1年生のときの、本に親しむ入り口のところ、それからまた、実際に読んで楽しいなと思うこととか、もっと読んでみたいなという気持ちなどを育てるのは、ただ単に学校だけの役目ではないのではないかなという感想があります。家族の方の協力もあるだろうし、それから今、学校には図書ボランティアの方とか、読み聞かせの方が、どの学校にも大体入ってくださっていて、そういう方々の支援とか協力などをずっと積み重ねていって、葛飾の子どもは本を読むのに抵抗感なく好きだ。そしてその心が育っていて、感想文を書けているのだなというのを実感させていただきまして、ぜひこのことが葛飾の読書はこういう読書というふうにして引き継いでいただいたら、もっといいのかなという思いで聞かせいただきました。多くのいろいろな方のお力が子どもにいい影響を与えていることを改めて思いました。ありがとうございました。

一つ聞きたいのが、中学校は24校ですよね。校数が少ないようですが、どうしたのかなと思

ったのですが。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今、こちらお話しのとおり、まだ私のほうで校長先生、副校長先生のほうに理由は聞いているところでございますが、学校名はわかっておりますので、しっかりとその理由がなんなのか。恐らく子どもたちが読書をしていないわけではないのですけれども、そのあたり、やはり教員の取り組みで違いがあってはいけないなど、私自身思っております。やはりこういう、子どもがよさを発揮するチャンスというのは、学校が率先してしっかりと取り組まなければいけないと思っておりますので、来年度は24校になるように、しっかりと今回その理由を聞いて、学校で自主的にこのような活動ができるように、私のほうからも学校に指導、助言はしてまいりたいと思っております。

○委員長 その他ございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 次に報告事項等3「平成25年度葛飾区少年の主張大会予選会の結果及び本大会の日程について」ご報告をお願いします。

地域教育課長。

○地域教育課長 それでは私から、「平成25年度葛飾区少年の主張大会予選会の結果及び本大会の日程について」ご報告させていただきます。

資料の1番目でございます、予選会の実施状況でございます。10月の4日間に、各地区で行われました。特に26日、最終日は台風27号の影響がございまして、開催ができるかどうか、天気予報では微妙でございました。前日の様子を見て判断するというところで対応をとったところですが、幸いなことに台風もそれまして、午前中が奥戸と新小岩北の2地区、午後が南綾瀬と西水元の2地区、計4地区だったのですけれども、午前中の2地区だけ、それぞれ少し時間を繰り下げさせていただいて、10時からの開催ということで、スタッフが集まるときは雨が降っていたのですけれども、子どもたちが発表するころには雨も少し小降りになってきて、無事にできたという状況でございました。そうした経過を経て、全ての会場で無事に子どもたちの発表ができました。

その結果でございます。真ん中辺に表で記してございますけれども、小学生の部が、小学校49校から469人の応募。うち、予選会の出場が460人、本大会の出場が20人ということで、括弧内が昨年の数字なのですけれども、学校数は変わらないのですが、応募が今年は小学生のほうで70人ほど減っていたという状況がございました。

小学校の1会場の参加人数がおおむね40人以上になりますと、2会場に分かれるということなのですけれども、今回、2会場になりましたのが亀有と柴又の2地区でございましたので、その関係で昨年が4会場ございましたので、それで人数が昨年より2人減っているという状

況がございます。

中学生の部のほうが20校ということで、昨年より学校数が2校増えて、人数も若干ですが、50人ということで増えているという状況がございました。中学生のほうは全て予選会には出場できています。ここから本大会への出場は6人の出場ということになっています。

小学生のほうで、応募と出場者の9人の差は、昨年のこの場でもご報告させていただきましたけれども、私どもの形式検査でひっかかってしまった人数ということになります。7月の募集開始のときから、何度か校長会等でもお話をし、その辺についてはくれぐれも、形式ですので、提出の際には確認をということでお話してきたところなのですが、結果として、今年もまた発表の場にたどりつけなかった子どもがいたということは非常に残念だと思っています。またここにつきましては来年もこの事業を周知するときに合わせてお伝えをしていきたいと思っております。

そうした経過を経て、裏面をごらんいただきますと、各地区の出場者の一覧が載っております。先ほども申し上げましたように、亀有地区と柴又地区の小学生のほうは2人ずつの出場ということになっています。

その中で、上から2番目、東立石地区から本大会に出場される行貝高虎さんは、昨年も唯一5年生で出場した方ございまして、昨年も優秀賞に選ばれています。2年続けての出場ということになります。今年も、その下二つの地区で5年生が2人いますので、またひょっとすると来年も出場の期待もあるかなという感じがいたします。

表面にお戻りください。本大会でございまして、今週の土曜日、16日の土曜日に午後0時半から午後4時40分までの予定で、シンフォニーヒルズの地下1階アイリスホールで行わせていただきます。

机上での配付になってしまいましたけれども、ピンクのプログラムがつい先ほど、お手元に行ったかと思っております。この順番で当日進めさせていただきますので、ご都合がよろしければ、よろしくご出席のほどお願いしたいなと思っています。

小学生のほうで、今年減った理由は、学校の事情等だと思うのですが、学校によっては学校行事がぶつかってしまったということがあったと聞いています。その辺の事情については、学校では周知をしていただいていたのだと思いますけれども、結果として子どもたちのエントリーがなかったということで、近年の傾向とは少し違ったという状況があったということで、今週の土曜日、本選のほうを期待していきたいと思っております。

私からの報告は以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長 ご質問等ございますか。

竹高委員。

○竹高委員 ご苦労さまでございました。昨年度、本大会のほうを聞かせていただいて、本当

に涙が出てくるほどすばらしい発表がたくさんありました。応募者数が減ってしまっているのがすごく残念だなと思って、見せていただいていたのですけれども、今年もすばらしい本大会になるのではないかなと期待しております。

学校も、校長先生も変わられて、学校の中の先生方も変わられて、1年ごとにいろいろな形は変わっていくのはもちろんなのですけれども、子どもたちにとって、この発表する場というのがあるということはとても大事なことです。ぜひ、学校の皆さんで背中を押してあげて、1回でもいいので、この前の読書感想文もそうですけれども、何かを発表して、自分の力を試して自信をつけていくことは、これから先、世に出ていくときにとても大事なステップの一つだと思います。ぜひ、背中を押していただけるように学校のほうにお力添えのほうをまたよろしく願いいたします。

○委員長 地域教育課長。

○地域教育課長 ありがとうございます。まさにおっしゃるとおりで、先ほど申しあげました26日の予選会のときも、万が一中止になったら、書類審査かなという話はしていたのですね。ただ、実際に地区のほうからの関係者、あるいはこのほかの関係者もぜひ子どもたちに発表させたいと、やっぱりそれを目指して練習もしてきているし、なかなか書類だけではという声もありました。その思いが伝わったのかどうかわかりませんが、やはり発表の場があるというのはいろいろな意味でいいことだと思っていますので、今、竹高委員からお話もあったように、来年もまたこの大会がございますので、今年の結果も踏まえて、ぜひ積極的に参加を勧奨していただきたいというお話はまた繰り返させていただきたいと思っています。

○委員長 竹高委員。

○竹高委員 追加でもう1点なのですけれども、昨年聞かせていただいて本当に思ったことは、予選会に出ている子どもたちも、もし時間があって聞けるのであれば、本大会のほうも聞きに行くと、小学生は中学生を聞くととても刺激にもなりますし、そういう機会もあるといいのかなというふうに思いますので、そういうお声かけを予選会の会場とかでなさっていただくのもいいのかなというふうに思いますので、追ってよろしく願いいたします。

○委員長 塚本委員。

○塚本委員 今、竹高委員おっしゃったとおりだと思います。やはりそういった機会に接するのは子どもたちにとって非常に大事でございますので、特に中学の部で、対前年比で増えてございますけれども、やっぱりあまねく全校に参加していただきたい。と同時に既に終わった行事なのですが、連合音楽会に私も参加させていただいたときに、やはりモーツァルトホールで演奏される子どもさんたちが舞台上に上がり、いなくなりますと、客席にはあとは保護者の方が若干いるだけと。生徒が参加をする機会を多くすることが非常に大事かなと思ってございます。

それが1点と、今回たまたま本日の資料で、裏面を見せていただきまして、私、教育長ともども上平井小学校で100周年という周年事業に参加する機会を得たのですが、そのときのオープニングセレモニーに非常に声高々な、はっきりした6年生の児童がいたのです。多分本大会に出場される北嶋さんだと思うので、楽しみにしています。私が今まで思っていた小学校の高学年のイメージとはまた違いますし、我が日本の国も捨てたものじゃないのかなど、本当につくづく、こういった機会を得ながらですので、ぜひ校長先生はじめ現場の、体育にしてもそうですね。先生方が子どもたちを学校だけでなく、地域ぐるみで育てるということは非常にいい行事だと思いますので、今後とも頑張っ、ぜひお願いしたいと思っています。

○委員長 ほかにありますか。

面田委員。

○面田委員 この「少年の主張」というのは、前にも中学生が都大会に出て、すばらしい評価を得ました。本当にレベルが高いということで、私自身もすごくうれしいし、ご努力をしてくださっていることをありがたく思っています。ぜひこれは、葛飾区の子どもたちにとっては、ある意味、アドバルーンという言い方はよくないかもしれませんが、目標にできる、そしてそれがレベルの高いものですので、着実に続けていってほしいと思います。

続けるに当たっては、さっき竹高委員が話をしておられましたが、学校によって取組が違っはやっぱりまずいというか、さっき室長も言っていましたけれども、教員によって取組が違っところがあるというようなお話しが出ておりました。それと同じように、学校によって、その取り組み方が違わないように、どの子にもチャンスがいけるような取組として、大会を継続していただきたい。そのためには、校内組織とか、その担任だけに任せるとかというのではなくて、具体的に言うとよく校内組織を工夫するとか、管理職も協力するとか、まだいろいろな形が出てくると思うのですが、ぜひ、そういう工夫をして、取り組んでいけるようお願いをしたいと思います。

教育というのは、今日見せていただきましたけれども、先ほどの陸上には体力の面ですよ。それから、さっきの読書にしても、それから今の少年の主張にしても、今度は知的な部分、中には徳目的なことも入っていると思うのです。いろいろなところで子どもを育てているのだなというのが、改めて思いましたので、取組が違わないようお願いをしたいと思います。

○委員長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○委員長 それでは報告事項につきましては以上で終了いたします。

ここで教育委員の皆さんより発言がありましたら、お願いします。

竹高委員。

○竹高委員 感想を一言言わせていただこうと思ったのが、昨日、中学校の連合音楽会を聞か

せていただいたのですけれども、合唱をなさっている学校が何校かありまして、その声ももちろんなのですけれども、全員合唱するのも、本当に子どもたちの声がすばらしく、感動させていただきました。合唱をやって、それと別に吹奏楽をやっている学校もあったのですが、合唱であれだけのホールで、子どもたちで力を合わせて2年生が合唱していたりとかというのを聞いて、ぜひそういうのはもっと、各校で音楽コンクールってあると思うのですけれども、それと同じように、学校の代表で、そこのモーツァルトホールで歌を歌うというのもすばらしいことだと思うので、参加してくれている中学校がふえるとまた一つ、すばらしいのではないかなと、楽器を使うことももちろんいいのですけれども、自分の体が楽器になるその合唱で、気持ちを一つに集めてやるというのは、本当にすばらしいことで、そのときしかもしかすると経験できないことかもしれませんので、多分この秋の時期にすごく大変な思いを中学校の先生方も連合陸上大会があり、いろいろなことがあるとは思っているのですけれども、参加して下さるとうれしいなと思ひまして、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長 ほかにございますか。

杉浦委員。

○杉浦委員 連合音楽会についてです。11月22日に小学校の部がありますので、それが終わってから、報告事項として報告されると思ひますが、今、竹高委員もおっしゃっておいりましたとおり、中学生のすばらしい連合音楽会を見せていただきました。ありがとうございます。ちょっと後ろを振り返ってみますと、座席に大分空席があり、この演奏会にしてもったいないなと思ひました。1,200席余の観客席がありますので、生徒・保護者数を想定して残席で区民の方がたに鑑賞していただいてもよいのではないのでしょうか。平日ですので限られてしまひますが、民生委員、シルバー人材センターの会員、高齢者、静かに鑑賞する区民等、中学生の立派な演奏会に大きな拍手のエールを送っていただき、心地よいひと時を過ごしていただけると思ひます。この辺を考えていただけたらと思ひます。

○委員長 塚本委員。

○塚本委員 杉浦委員のおっしゃっていただいたことに尽きます。特にホールの後ろのほうを振り返ったときに、やはり機会均等、また現場の学校によっては、カリキュラムで対象学年と出場者とのバランスはあろうと思ひのですが、それといて、区民の方へのPRという部分で、非常にふれ合いの場の提供という部分で、大事ななというふうにお思ひました。

○委員長 面田委員。

○面田委員 この間、東柴又小でのノロウイルス発生についてご連絡いただき、適切に処理をしていただいているのだと思ひます。その後はいかがでしょうか。

○委員長 学務課長。

○学務課長 保健所の検査結果が4日月曜日に出まして、ノロウイルスが3検体中、2検体が

ら発見されたということで、ノロウイルス発生が確定をいたしました。確定をいたしました後は、保健所の管理下に入りますので、安全宣言が出るまでは、約2週間ほど、保健所のほうではその状況を見るというような見解でございます。

保健所の管理下でございますので、安全宣言そのものは保健所でしか出せないということになりますけれども、現段階では対応が早かったということもございまして、実は3連休の前の金曜日に休校をいたしました。その前の日に238人、そして、前日に48人ということで拡大をしていって、学校のほうも子どもたちが登校するのに、全校消毒をし、子どもたちを受け入れ、そして休校を決めた後も毎日学校の教職員が手分けをして、全校消毒をし続けているというところでございます。

そのかいもあって、拡大はほぼなくなったということで、現在、同一の症状で休んでいる子どもは1人と聞いております。当初、5年生、6年生ということで広がりましたけれども、その子どもたちは連休中にほとんど症状が回復したということでございます。その後、4年生、3年生と、何人か出ましたけれども、大きく広がらずに終息に向かっているということで、授業は平常どおり行われているということでございます。

今週末に周年行事もございますけれども、それに向けて学校では万全な態勢を整えているというところでございます。以上です。

○面田委員 ありがとうございます。

○委員長 ほかにございますか。

(発言する者なし)

○委員長 ないようですので、続いて、「その他」の事項に入ります。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 前回の第10回臨時会において、「こやのエンジョイくらぶ」の法人化についての報告をさせていただいたところですが、その際に杉浦委員からのご質問の中で、登記簿の写し及び役員名簿についての提出の要望がありました。ただいまお手元のほうに登記簿の履歴事項全部証明書と、「こやのエンジョイくらぶ」の理事及び監事名簿を配付させていただきましたので、後ほどごらんおきいただきたいと思います。

私からの説明は以上でございます。

○委員長 それでは庶務課長、一括してお願いいたします。

○庶務課長 本日の資料配付でございます。1つ目が10月16日発行の「みんなの生涯学習」の第113号、二つ目が「葛飾の図書館」ということで、昨年度の事業年報を配付させていただいております。

次に、出席依頼でございます。一番最後の資料の「出席予定表」をごらんいただきたいと思います。11月21日の「青戸中学校野球部表敬訪問」でございます。これは松本委員長のほうに

お願いできればと思っております。

12月18日、勤労福祉会館で行われます「スポーツ推進委員定例会」は、杉浦新委員長のほうにお願いできればと思っております。

12月26日の葛飾保健所で行われます「朝食レシピコンテスト」は、杉浦新委員長と竹高委員にお願いできればと思っております。

次回の教育委員会でございます。11月26日、10時からを予定しておりますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

○委員長 よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして、平成25年教育委員会第11回定例会を閉会といたします。

閉会時刻 11時05分